



2020年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年3月13日

上場会社名 株式会社フィット 上場取引所 東
 コード番号 1436 URL <https://www.fit-group.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴江 崇文
 問合せ先責任者 (役職名) マネジメント事業部長 (氏名) 柳橋 健一 (TEL) 050(6868)2673
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第3四半期の業績 (2019年5月1日~2020年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第3四半期	3,148	27.3	31	—	23	—	△2	—
2019年4月期第3四半期	2,472	△31.6	△435	—	△440	—	△637	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第3四半期	△0.57	—
2019年4月期第3四半期	△148.84	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第3四半期	7,349	4,221	57.4
2019年4月期	7,219	4,266	59.1

(参考) 自己資本 2020年4月期第3四半期 4,221百万円 2019年4月期 4,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年4月期	—	0.00	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想の修正については、本日(2020年3月13日)に公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年4月期の業績予想 (2019年5月1日~2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	11.5	220	—	200	—	133	—	31.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年4月期3Q	4,282,800株	2019年4月期	4,282,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年4月期3Q	一株	2019年4月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年4月期3Q	4,282,800株	2019年4月期3Q	4,282,697株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の着実な改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、2019年10月の消費増税の及ぼす懸念等、景気の先行きに関し不透明感が残る状況が続きました。

当社は、事業セグメントを「クリーンエネルギー事業」「スマートホーム事業」「ストック事業」に分けて活動を行っております。

各セグメントの事業環境は下記のとおりであります。

① クリーンエネルギー事業

当社の事業領域に関わるクリーンエネルギー事業につきましては、国内総発電量に占める再生可能エネルギー発電の割合は22～24%とする目標が掲げられ、自社消費電力の再生可能エネルギー調達へのシフトはRE100(100%再生可能エネルギーを利用して事業運営を行うこと)を目標として国際団体参加企業等、多くの企業にとっても重要課題と位置付けられていく見通しです。

また、固定価格買取制度(FIT)の変更や未稼働案件に対する運転開始期限設定の義務化等により発電事業者の淘汰が進む一方、稼働中の太陽光発電施設の売買に関する中古(セカンダリー)市場が形成され、安定収益が見込める再生可能エネルギー投資への市場は、改めて見直されていく見通しです。

② スマートホーム事業

当社は、規格住宅「IETERRACE(イエテラス)」、規格戸建賃貸住宅「FITCELL(フィットセル)」を中心に引き続き展開してまいりました。

このような状況のもと、当社は、当事業年度において、当社が主として行うクリーンエネルギー事業、スマートホーム事業、ストック事業へのビジネスモデル転換を進め、フローからストック型への転換により、次の成長につながるビジネスモデルを生み出すことを目指し、各事業を推進しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は3,148,931千円(前年同四半期比27.3%増)、営業利益31,457千円(前年同四半期は営業損失435,532千円)、経常利益23,555千円(前年同四半期は経常損失440,852千円)、四半期純損失2,442千円(前年同四半期は四半期純損失637,438千円)となりました。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントの名称と区分を変更しており、当第3四半期累計期間の比較、分析は変更後の名称に基づいております。

変更後の新報告セグメントの説明は以下のとおりであります。

① 「クリーンエネルギー事業」

売電中のクリーンエネルギー発電所を取得、または、自社開発した発電所を運用しながら、発電効率を最大化して販売。

② 「スマートホーム事業」

再生が見込めるエリアの用地を取得、当社建設パッケージ商品(スマートホーム)を組み合わせ、居住用不動産として開発。開発した商品をマイホームとして分譲、または、投資用戸建賃貸住宅として販売。

③ 「ストック事業」

販売したスマートホームやクリーンエネルギー発電所の管理等のフィービジネス。

変更後の新報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業では、販売区画数は101.06区画（内、新規95.76区画、セカンダリー5.29区画）となりました。

以上の結果、クリーンエネルギー事業の売上高は1,400,262千円（前年同四半期比84.5%増）、セグメント利益は171,489千円（前年同四半期はセグメント損失132,961千円）となりました。

② スマートホーム事業

スマートホーム事業では、販売棟数は61棟となりました。

以上の結果、スマートホーム事業の売上高は1,084,327千円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント損失は74,374千円（前年同四半期はセグメント利益77,417千円）となりました。

③ スtock事業

Stock事業の売上高は664,342千円（前年同四半期比26.2%増）、セグメント利益は191,661千円（前年同四半期比254.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は6,527,601千円(前事業年度末6,323,158千円)となり、204,442千円増加しました。主な要因は、製品が678,910千円、仕掛品が461,232千円、前渡金が393,183千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が917,398千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は821,994千円(前事業年度末896,184千円)となり、74,190千円減少しました。主な要因は、無形固定資産が28,629千円、投資その他の資産のその他が19,762千円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が95,535千円減少したこと等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は2,127,766千円(前事業年度末1,925,851千円)となり、201,915千円増加しました。主な要因は、短期借入金が200,000千円、前受金が70,501千円それぞれ増加した一方で、買掛金が33,756千円、1年以内返済予定の長期借入金が31,573千円それぞれ減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は1,000,260千円(前事業年度末1,026,709千円)となり、26,449千円減少しました。主な要因は、固定負債のその他が91,745千円増加した一方で、長期借入金が111,045千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は4,221,567千円(前事業年度末4,266,782千円)となり、45,214千円減少しました。主な要因は、四半期純損失の計上により2,442千円、また、配当金の支払いにより42,828千円、利益剰余金が減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、2020年4月期の業績予想につきましては、2019年6月14日付「2019年4月期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,039,173	1,121,774
売掛金	541,092	139,381
販売用不動産	909,742	1,280,729
製品	1,096,836	1,775,747
仕掛品	366,950	828,182
材料貯蔵品	131,188	101,678
前渡金	722,274	1,115,457
その他	515,900	164,648
流動資産合計	6,323,158	6,527,601
固定資産		
有形固定資産	373,810	278,275
無形固定資産	21,144	49,774
投資その他の資産		
その他	511,431	531,194
貸倒引当金	△10,202	△20,250
投資損失引当金	—	△17,000
投資その他の資産合計	501,229	493,944
固定資産合計	896,184	821,994
資産合計	7,219,343	7,349,595
負債の部		
流動負債		
買掛金	379,888	346,132
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	184,227	152,654
短期借入金	800,000	1,000,000
未払法人税等	—	19,631
前受金	201,331	271,832
賞与引当金	25,650	16,788
完成工事補償引当金	12,063	12,064
資産除去債務	11,122	16,631
その他	211,567	192,032
流動負債合計	1,925,851	2,127,766
固定負債		
長期借入金	721,590	610,545
資産除去債務	7,436	287
その他	297,682	389,428
固定負債合計	1,026,709	1,000,260
負債合計	2,952,561	3,128,027

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,822	979,822
資本剰余金	949,809	949,809
利益剰余金	2,337,220	2,291,949
株主資本合計	4,266,852	4,221,582
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△70	△14
評価・換算差額等合計	△70	△14
純資産合計	4,266,782	4,221,567
負債純資産合計	7,219,343	7,349,595

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年5月1日 至2019年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)
売上高	2,472,757	3,148,931
売上原価	1,791,006	2,233,835
売上総利益	681,751	915,095
販売費及び一般管理費	1,117,283	883,638
営業利益又は営業損失(△)	△435,532	31,457
営業外収益		
受取利息	92	90
還付加算金	—	3,232
補助金収入	—	3,000
受取保険金	887	—
雑収入	1,113	—
その他	1,551	1,441
営業外収益合計	3,645	7,764
営業外費用		
支払利息	7,159	12,117
社債利息	791	791
その他	1,014	2,758
営業外費用合計	8,965	15,667
経常利益又は経常損失(△)	△440,852	23,555
特別利益		
固定資産売却益	961	—
特別利益合計	961	—
特別損失		
投資損失引当金繰入額	—	17,000
減損損失	174,840	—
特別損失合計	174,840	17,000
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△614,730	6,555
法人税、住民税及び事業税	3,787	14,151
法人税等調整額	18,920	△5,153
法人税等合計	22,707	8,997
四半期純損失(△)	△637,438	△2,442

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。